

2 データの可視化について述べた下記の文章を読み、次の各問い（問1～問3）に答えなさい。

(1) 以下の表1は、4種類のグラフについて、そのグラフの用途および、用いる具体的なデータの例をまとめたものである。

表1

グラフの種類	用途	具体的なデータの例
棒グラフ	ア	オ
折れ線グラフ	イ	カ
帯グラフ	ウ	キ
散布図	エ	ク

問1、問2 { 学習指導要領 (2) - 知・技 - イ
 学習指導要領 (4) - 知・技 - ウ
 学習内容 (2) - イ 情報デザインと役割
 学習内容 (4) - ウ データの収集と傾向の可視化

問1 空欄 ア ～ エ に入る最も適切な項目を選択肢の中から選び、その番号をマークしなさい。

- ① 内訳や比率を表す
- ② 全体的な分布や傾向、相関関係を見る
- ③ 項目間の数値を比較する
- ④ 時間経過に伴うデータの変化を読み取る

問2 空欄 オ ～ ク に入る最も適切な項目を選択肢の中から選び、その番号をマークしなさい。

- ① ある市の8月の日毎の最高気温
- ② ある商品の店舗ごと販売価格
- ③ さまざまな自動車の燃費データと重量データ
- ④ ある政策に対する年代別の支持／不支持のデータ

- (2) 以下の2つの図は、ある企業の1年間の月別売上集計と月末の総資産の推移を表したものである。

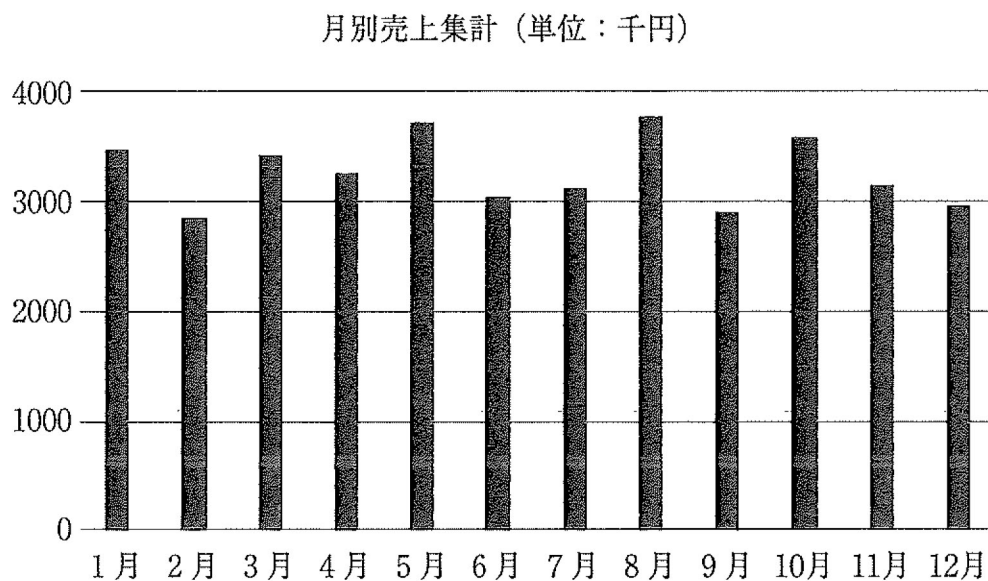


図1

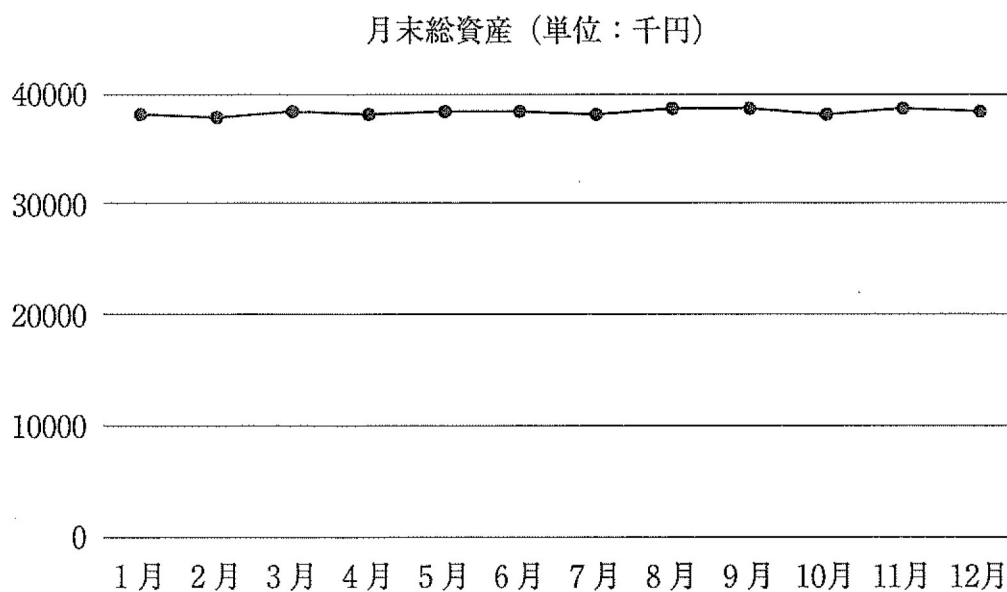


図2

問3 このグラフの元になったデータから、3ヶ月毎に集計したグラフを作ったとする。図3が3ヶ月毎売上集計、図4が3ヶ月毎末総資産のグラフである。この際のグラフのラベル および として適切なものを①～⑥からそれぞれ選びマークせよ。

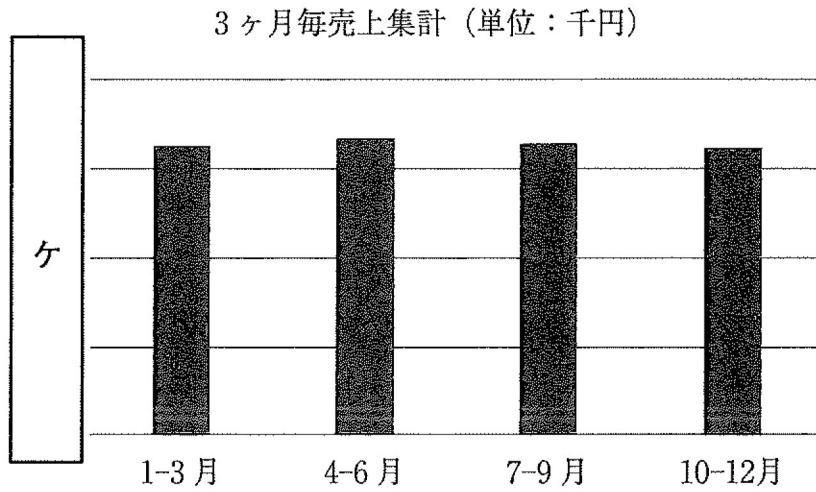


図3

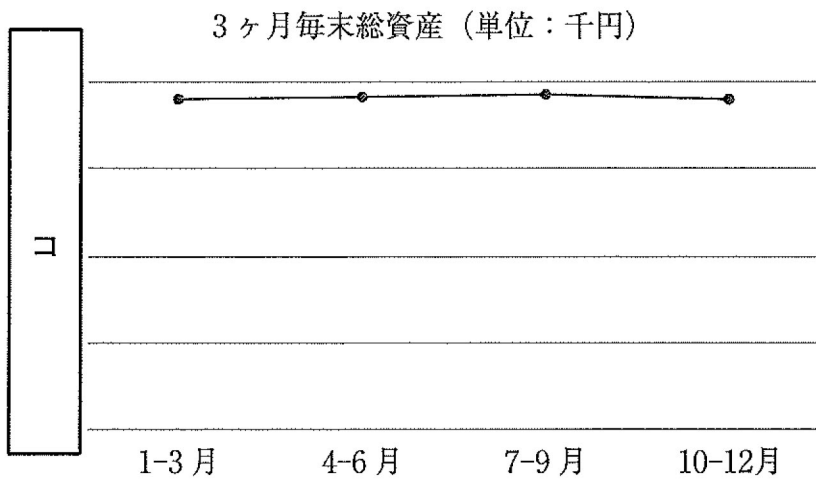


図4

①	②	③	④	⑤	⑥
2000—	4000—	12000—	20000—	40000—	120000—
1500—	3000—	9000—	15000—	30000—	90000—
1000—	2000—	6000—	10000—	20000—	60000—
500—	1000—	3000—	5000—	10000—	30000—
0—	0—	0—	0—	0—	0—